**第4学年3組　算数科学習指導案**

1. **題材名**　**小数と整数のかけ算・わり算**
2. **本時の学習指導**
3. 目標

　　　　・帯小数（$\frac{1}{10}$の位）$÷$整数（1位数）の意味と計数原理や方法を理解し、筆算で計算することができる。（数量や図形に対する知識・理解）

1. 展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点 | 時間 |
| １　本時の問題場面を知り、課題をつかむ。〈問題場面〉7.2Lの牛乳を動物3匹で同じ分量ずつ分けます。1匹分は何Lになるでしょう。（１）式の立て方と、数直線を考える。C　3つに分けるので、 7.2$÷$3だと思います。数直線を書いて関係性を示す。どのくらいの数値になるか予想する。（２）前時までの学習とどこが違うのか考え、課題を立てる。　 C　前までは小数×整数の計算だったけど、今回は小数$÷$整数のわり算になっていると思います。〈課題〉小数$÷$整数の計算の仕方について考えよう。２　7.2$÷$3の計算の仕方を考える。３　考えを発表し、話し合う。C1 前習ったときと同じように、7.2は0.1が72こなので、同じように72$÷3$＝24で2.4Lだと思います。C2　7.2をわけると7と0.2になって7$÷3$=2あまり1。余った1と0.2を合わせると1.2なのでこれも3で割る。1.2は0.1の12こ分なので整数化して12$÷3$=4で、0.1の4こ分なので0.4。2と0.4を合わせて、7.2$÷3$の答えは2.4です。４　7.2$÷$3　筆算の仕方について確認する。５　本時の学習のまとめを行う。まとめ0.1をもとにして小数を整数化することで小数$÷$整数の計算ができる。また、筆算でも0.1を元にして考えられる。６　教科書p182の練習問題を解く。 | ○本時の問題場面を提示する。その際、より問題場面に興味を持たせるために実際の問題では3つの容器に分けるだけだが、動物のイラストを用いて考える。○わり算での式を立てるという回答が出たら、数直線を用いて様々な考え方で計算ができるように促す。○前時までの小数×整数の問題と比較して考えられるようにする。○計算の仕方を考える際、前時までの学習を子どもたちが意識できるように促す。○一つ考え方が書けたら、他にも考え方があるかどうか考えるように促す。評0.1をもとにして考えることで小数を整数化して答えを求めることができる。（数量や図形に対する知識・理解）○それぞれの考えを発表させ、全体で共有できるようにする。○発表している児童に耳を傾けられるように、似ているところや、付け足しはないかなど、聞くポイントを提示する。○複数の求め方の発表があった場合、よりよい方法を考えることができるように、どの求め方が早くて簡単で正確にできるか考えるようにする。○筆算については、子どもたちと確認しつつ進め、その中で以下の注意点を伝える。注意点1　最初に計算するのはどこか問いかける。　7$÷$3＝2あまり1注意点2　次の計算の1.2$÷$3の計算の仕方を問いかける。　0.1を元にして考えると12$÷$3を計算する。答えは4だが、0.1を元にしているので0.4となり、答えは2.4になる。○かけ算で利用した0.1を元とする考え方をわり算でも利用できるようにする。○時間が余れば行う。 | 10’7’13’10’5’ |

1. **備考**　在籍童数　35名
2. **板書計画**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 問題7.2Lのぎゅうにゅうを動物3びきで同じ分量ずつ分けます。1ひき分は何Lになるでしょう。式 7.2$÷$3　　予想　大体2から3（数直線） | 課題小数$÷$整数の計算の仕方について考えよう。やり方①0.1を元にして考える 7.2は0.1が72こ　72$÷$3＝24　　　2.4L②7.2をわけると7と0.2　7$÷$3＝2あまり1　1＋0.2＝1.2  1.2$÷$3＝0.4 0.4＋2＝2.4 2.4L | 　　　　　　　　①7$÷$3＝2あまり1 ②1＋0.2＝1.2筆算 　 0.1を元にする　　　　　③1.2$÷$3＝0.4　 答えは2.4まとめ小数$÷$整数の計算は、小数を整数化することで求めることができる。 |